

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 工学部 2年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

「シルクロード」という響きに惹かれた。個人ではなかなか行けない国に行ってみたかった。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

いざとなるとほとんど英語が話せなかったが、スマートフォンやジェスチャーを援用することでなんとかなることがわかった。ただ、意見の交換などの深いレベルの会話のために、英会話ができるように努力する必要があると感じた。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

名古屋では一般的なフィールドワークへの姿勢や手順を学んだ。他にも参考文献の挙げ方や、教授とのメールの作法など様々な事を学んだ。ウズベキスタンでは現地の学生とともに講義を受ける時間が少しだけあったが、その少しの時間からだけでも、意見を発表することの重要さがわかった。現地の学生は些細なことでも発表する。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

研修中の生活では異文化を学ぶことができた。食事や宗教、建物、交通、考え方など様々なものの違いを発見することができた。また、似ているところも発見することができた。似ているところは意外とふとしたときに気づくことが多かった。例えば、笑いのツボだったり、男の子は車のおもちゃが好きだったり。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

水はミネラルウォーターを買って飲むこと。腹7分で押さえること。予防的に正露丸を毎日飲んだこと。トイレに行く際は、友達に荷物の管理を頼むようにした。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	13万円		振込
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	10万円	900ドル	ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	20000円	= 60000スム	現金
各自での交通費	10000円	= 30000スム	現金
その他（小遣い）	10,000円	= 30000スム	現金
計		約 25万円	

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓



賑やかなバザール



食事はいつも豪華



交差点にロバが侵入



魅力的なホテル



お疲れさまでした

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 経済学部 2年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

夏季休暇を利用して海外に行きたいと思っていた。観光のみもいいが、せっかくなので大学が行っている研修という形での海外渡航も魅力的なのではないかと考え、海外留学室のサイトを見たところ、高校生の時に行ってみたいと思っていた世界遺産に行くことができ、さらにフィールドワークにも挑戦できるということを知り、このウズベキスタンへの研修に興味を持ち履修を希望しました。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

フィールド調査をするにあたって、まず何をテーマにするのか、現地においてそのテーマはどのような状態なのかなど初めてのことで情報収集も難しかった。また得た文献の著者の意見に影響を受けすぎて自分のテーマや軸がぶれそうになることがあるなど自分で調査内容を組み立てていく難しさを学んだ。

私はアンケートを用いた調査を行ったのだが、現地での実際の調査において、日本と現地の価値観の違いから質問事項が現地の人にとって理解しづらいということが起こり、異なる文化・社会であるということ調査内容だけでなく実施する面でも学ぶことができた。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

現地の大学で受けた講義・訪れた博物館や歴史的建造物で伺ったガイドさんの話など、現地の歴史についてたくさん学ぶことができた。高校の時の教科書や資料集だけだった知識が見て・聞いてをすることで深まり、自分の専門分野とは異なるがとても興味深くこれからは勉強したいと思えるものになった。

また様々な方から話を伺う機会が多かったが、そんな中、自分の興味関心からしっかりと質問をする同じ研修参加者がいて、ただ話を聞くだけではもったいないということを痛感し、貴重な機会には特にアンテナを張ってより有意義な時間が送れるようにしたいと思った。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

日本との考え方の違いを人から、町の風景から、サービスからなど様々なところから感じた。それらは自分にとって新しく興味深いものも多かったが、現地の考え方・風習等を学ぶのと同時に日本の考え方なども対比から見えてくるものもあり、また日本とウズベキスタンの共通点なども見えてきて、海外を知ると同時に海外から改めて知る日本というものもあり面白かった。現地での2回のホームステイで、観光では見えてこない現地の日常風景や宗教的行事などを見る機会があり、また様々なことをホストが教えてくれて貴重な経験になった。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

一日の行動を始める前など、行動の節目節目に貴重品等のチェックをおこなった。また食や気候が違うので美味しいからたくさん食べるのではなく体調に十分気を使って抑えるところは抑えたり、疲れたときは休んだり、健康第一で普段よりも自分の状態に気を付けていくことを意識した。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	140,000 円		振込
授業料	0 円		
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	100,000 円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	3,000 円	= 100,000 スム	
各自での交通費	300 円	= 10,000 スム	
その他（小遣い）	22,000 円	= 180,000 スム	
計		約	26 万円

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属 & 学年 | 経済学部 1年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

以前から英語圏に長期留学を考えていたが、アジアの国へ、しかも短期留学は全く考えていなかった。しかし、留学説明会で話を伺い、ウズベキスタンについて調べていくうちに、シルクロードの中心地であるサマルカンドの美しさに魅了された。きっとこれを逃したらウズベキスタンには二度と行けないだろうと思った上に、今の自分の淡々とした日々を変えたいと思い、ウズベキスタンに留学したいという気持ちが強くなり、履修を希望した。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

名古屋では、現地でのフィールドワークに向けて各自の研究テーマに関する文献を読み込み、知識を増やした。フィールドワークを行うのは初めての経験だったのでわからないことだらけだったが、準備から現地での行動、留意点まで一から学んで、現地での調査に備えることができたと思う。

ウズベキスタンでは、フィールドワークが思うようにならず、予定通りのアンケートの枚数が集まらなかったが、周りの人の助けもあり、臨機応変に対応してなんとかなった。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

ウズベキスタンでは、自分の中の大学講義の概念を覆すような衝撃的な講義を受けた。学生が座って教授が話しているのをひたすら聞くわけではなく、皆でゲームをしてその結果から「交渉術」を学び、それを通して普段の生活について考察するという斬新なものだった。自ら考えて発言し、ほかの学生の意見を聞くので、いろいろな人の考え方に触れ、理解がさらに深まった。自ら考えて行動することの大切さを再確認した講義だった。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

自分にとって当たり前のことは、本当は当たり前ではないことを痛感した。具体的に言うとインターネットが使えたり、トイレの水が流せたり、水道水がきれいだったり、日本では当たり前のことが本当は恵まれている感謝すべきことだと気づいた。

また、ウズベキスタンはソ連が介入している特殊な文化であるため、イスラム教といってもそこまで厳格でなく、想像していたのとは異なった。現地にも実際に行ってみないとウズベク人の宗教に関する考え方や自国に対する考え方を直接聞くことはできなかったのも、とても貴重な体験ができたと思う。資料の上では一般化されてしまうことだが、今回は一人ひとり聞いたのでかなり視野が広がった。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

バザールや地下鉄では一人で行動しないように気を付けた。また、日本での癖でリュックのサイドポケットにスマホを入れて開けっ放しで持ち歩いていたところ、ウズベクの女性に危ないからチャックを閉めなさいと親切に教えていただいた。盗難が発生しそうで危険だから皆気を付けているのだなと思い、感謝した。

また、食生活の面では水も悪く、食べ物も日本人にとっては油っぽいものが多かったため、お腹の調子を崩す人が非常に多かった。私は徹底して自分の食事を管理し、食べたいものは食べるが特に肉や油の多いものを食べ過ぎないことと、必ず温かいお茶を飲むことを心掛けて生活した。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	12万円		振込
滞在費(宿泊費・食費・交通費・通信費)	900ドル		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費			現金
各自での交通費			現金
その他(小遣い)	300ドル		現金
計			約 24 万円

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 学部 年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

私がウズベキスタン研修に興味をもったきっかけは、去年研修に参加された先輩方からいろいろなお話を聞いたことです。大変なこともあったが、本当に行ってよかったと話される様子を見ていて、私もぜひ行ってみたいと思うようになりました。またウズベキスタン研修は自分の未知の国を訪れるきっかけとなるだけでなく、フィールドワークやホームステイといった、ただの観光旅行では得られないであろう、これからの自分の活動に役立つ経験ができる貴重な機会だと思ったためです。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

特にフィールドワークでは自分の専門が農学であるため、ウズベキスタンの農家の方や先生からお話を伺い、文献だけでは分からなかった現地の農業事情を知ることができました。調査ではインタビューを実施したのですが、協力者との連絡や翻訳者を介してのやり取りなどを初めて経験し、個人では行えない形式ゆえの難しさを感じました。また、質問およびその回答には英語を用いていたのですが、上手くやり取りができない場面が多かったため、自身の英語力の乏しさも痛感しました。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

名古屋での事前授業ではウズベキスタンの文化や言語を学び、そしてフィールドワークについての個人発表を行いました。また、現地でも歴史や宗教などについての講義を受講しました。最初はウズベキスタンについての知識がほぼなかったため、様々な授業を受けたことで現地の文化に対する理解を深めることが出来たと思います。また、フィールドワークについての発表では、研修を共にした皆の調査計画およびその結果を知ることが出来ました。自分とは違うテーマについてどのような着眼点で調査し、そしてどのような結果となったのかはとても興味深かったです。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

研修ではホームステイをする機会などもあり、現地の方の生活を体験することが出来ました。私は初めての海外であったためすべてが新鮮に感じられ、新たな発見の日々でした。衣食住の日本との違いなどを、身をもって知ることが出来たのは本当に良い経験になったと思います。大変なことも少なからずありましたが、いろいろな人と助け合いながら行動することが出来たため、乗り越えて行けたのだと感じています。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

ウズベキスタンでは、とくに健康管理について気を付けていました。先生や先輩方から体調を崩すというお話をよく耳にしていたためです。しかし、水や食事にはとくに注意を払っているつもりではいましたが、結局最後に体調を崩してしまい、慣れない環境で健康を管理する難しさを実感させられました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	130000 円		振込
授業料	0 円		
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	90000 円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	4000 円	= 130000 スム	
各自での交通費	1000 円	= 30000 スム	
その他（小遣い）	20000 円	= 700000 スム	
計		約 25 万円	

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

今後ウズベキスタンに行けることはそうないと思うので、ぜひこの機会を活用してみてください！



全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 工学部 3年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

名大生だからこそできる留学がしたいと思ったから。日本で中央アジアについて知る機会があまりないので、ウズベキスタンを自分の目で見てみたいと思ったから。国際協力に興味があり、それに関するフィールドワーク調査をしてみたいと思ったから。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

事前授業では、インタビュー調査やアンケート調査のやり方、注意点を学んだ。フィールドワーク調査では、ウズベキスタンで国際協力に関わる日本人（青年海外協力隊、JICA プロジェクト調整員、日本法センター職員など）の方々にインタビューをし、活動内容やどのようなことに気をつけてプロジェクトを進めているのか知ることが出来た。また、現地のウズベク人たちがそれに対してどのような印象を持っているか調査することが出来た。さらに、帰国後のフィールドワーク調査発表では調査結果をどのようにまとめ、発表すると、聞き手に効果的に伝わるか学ぶことが出来た。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

名古屋では、事前準備としてウズベキスタン名大事務所にテレビ電話をしたり、在日ウズベキスタン大使館の外交官に電話でインタビュー調査をした。そこでウズベキスタン人何人かと会話することで、ウズベキスタン人の国民性を垣間見ることができた。

ウズベキスタン滞在中では、ホームステイ、ホームビジットでは現地の学生とたくさん交流し、彼らがどのような生活を送っているのか知ることが出来た。特に、ホームステイ中にイスラム教の行事「犠牲祭」を見ることが出来たことは貴重な経験になった。また、歴史的に重要な史跡、伝統工芸品を作る工場などの訪問を通して、ウズベキスタンの歴史やウズベキスタンで大事とされていることを理解することが出来た。

個別指導では、漠然としていたフィールドワーク調査目的を具体化したり、新たな調査の可能性を指示していただいた。さらに、インタビュー調査の依頼メールや、調査中のマナーについてのご指導をいただいた。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

現地学生との交流や、観光地では英語が通じたり、学生によっては日本語がとても上手な学生もいたので円滑にコミュニケーションをとることができた。しかし、一般のウズベク人は英語を話せない人もいたので、ウズベク語を事前にもっと勉強すればよかったと感じた。また、ロシア語も話せる人が多い。バザールでの買い物や、道を尋ねるときなど、現地の人と交流する場もたくさんあった。また、気候が日本と比較してかなり乾燥していて昼夜の寒暖差が大きいため、体調管理が重要である。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

入国審査では、税関申告の紙を詳しく記入する必要がある、時によっては厳しくチェックされるので、書き間違いがないかよく確認する。普段の生活では、ご飯がおいしかったので、食事は日本での食事と変わらずとっていたが、ウズベキスタン料理が脂っこいものや水分を含んだものが多かったため、途中で体を壊してしまった。自分の体調に合わせて食べる量を調整する必要がある。また、遺跡ではあまり人が来ないところだと蜂がいるので、あまり奥に行き過ぎないようにする。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	11万円		振込
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	90000円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	1000円	ホームステイ中	現金
各自での交通費	500円	= 35000スム ホームステイ中	
その他（小遣い）	1万円	= 700000スム	現金
計		約 20 万円	

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

ウズベキスタン料理は、代表的なものでパンのナン、ご飯を炒めたプロフがあります！しかし、地方によってその具材や作り方も違います！ぜひ各地方の料理を楽しんでください！

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 文学部 1年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

この研修のタイトルにある「シルクロード」という言葉に惹かれてウズベキスタンについて調べたところ、多くのイスラーム建築があるということがわかりました。元タイスラーム建築に興味があったので、実際に見ることができる絶好のチャンスだと思い、研修に参加したいという気持ちが強くなりました。ウズベキスタンは自分にとっては未知の国であり大変魅力的だったこと、またこの機会を逃したら訪れることはないかもしれないと感じたこともあって履修を決めました。また大学生の間に一度は海外経験をしたいと思っていましたが、いきなり長期の留学はハードルが高いと感じたので、2週間という期間は大きな決め手になったと思います。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

自分が最初に考えていたフィールドワークの内容が、現地調査よりも文献調査が中心となるということを先生から教えていただいたので、最終的にテーマを変えました。授業中にも先生からご教授いただけるので、内容を具体的なものにしていくことができ、かつ自分がしたいことを改めて整理できます。研修が終わってから考えると、テーマ設定は、調査全てに影響を与えるとても重要な要素なのだ実感しました。また、調査の準備のときでも実際に調査するときでも、自分が何を明らかにしたいかを念頭に置いておくと芯がぶれることなく進めていけると感じます。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

事前に渡航先についての知識があると現地視察の際により理解が深まるので、授業だけでなく自分でも積極的に情報を集めると良いと感じました。現地では様々な体験ができるのでとにかく楽しみながら学習できたと思います。研修中にお世話になる現地学生さんの中には日本語を話せる方もいますが、英語を使える方が多いため、ある程度英語で話せると良いと思いました。また現地の大学で授業を受ける機会がありましたが、自分の積極性のなさや英語力の低さを痛感するものとなりました。日々の学習態度を改めようと思えた良い経験でした。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

自分では気づかないうちに生活環境の違いがストレスとなり、少しずつ疲れが溜まっていたように思います。睡眠時間が少ないと次の日に響くこともあったので、普段以上に睡眠をよくとって疲れを翌日に持ち越さないよう気をつけた方が良いと感じました。また私はお腹が弱いので、食事の量は腹八分目までにして、温かいお茶と一緒にいただくなど、なるべくお腹に負担がかからないようにしていました。自分の体調をしっかり把握して自己管理することの大切さに改めて気づくことができました。

5. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

渡航前は規則正しい生活を送り、体調を万全に整えて研修に臨みました。現地では決して生水を飲まずに、必ずミネラルウォーターを持ち歩いていた。スリに対して過剰に敏感になる必要はないと感じましたが、自分の荷物からは目を離さないようにしていました。また日本と同じ感覚で道路を横断しようとする大変危険なので、現地の方と一緒に渡るように心がけました。どのような場面でも、自分は今、外国にいるという意識をもって行動したことで常に安全に気を使えたと思います。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	13万円		振込
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	9万円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	1400円	= 56000 スム	
各自での交通費	1000円	= 40000 スム	
その他（小遣い）	5万円	= 2000000 スム	
計		約 27 万円	

自由記述欄 *後輩へおすすしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

日本ではあまり馴染みのないウズベキスタンですが、現地では日本語で話しかけてくれる方が結構いてびっくりしました。気さくな人柄の方が多く、私達がバスに乗っているときにこちらに向かって手を振ってくれる人までいました。手を振り返すとにっこりと笑顔を見せてくれて、とても温かい気持ちになれます。是非手を振ってみて下さい。



視察に行くところは、世界遺産にもなっているような美しい場所ばかりです。写真を撮るのも良いですし、じっくり目で見楽しむのも良いと思います。廟ではクルアーンを朗唱しているのを実際にきくことができるかもしれません。歌のようでありながら荘厳な雰囲気でした。

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 教育学部 2年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

以前にキリスト教圏のイタリア、仏教圏のタイに行ったので、次にイスラム教圏へ行ってみ
たい、ウズベキスタンに行く機会はそうそうないと思ったので参加しました。前学期に全学
教養科目・特別講義のタイ研修に参加し海外研修への抵抗がなく、また奨学金が出るため参
加しやすい留学プログラムだと考えたからです。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

自分は「ウズベキスタンの民族衣装・ファッション」をテーマにフィールドワーク調査を進め
ました。初めの方では、メールの書き方といった基礎的なことから教えていただき、現地にお
いては具体的な調査案なども勉強させていただくことができました。

現地では観察調査、聞き取り調査、アンケート調査を主として行いました。言語の異なるウズ
ベキスタンでのフィールドワークは通訳をしてくれる学生を介して行いましたが、それでも
専門用語を用いるため調査は困難でした。これらの体験によりフィールドワーク自体の難し
さやうまく進めて行くためのコツを学ぶことができたかと思えます。

一人一人の調査したいテーマを尊重し各自別行動をとらせていただけることもあったので現
地で気付いた点、調査したいと思った点についても柔軟に対応できフィールドワークとして
はより実りある成果を得ることができたかと思えます。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

渡航前、現地の生活やウズベキスタンという国自体についてのイメージが持てないでいま
しが事前学習を通じて詳しく知ることができました。他にもウズベキスタンの歴史などにつ
いても勉強しましたがこれは、ウズベキスタンの遺跡、観光地や宗教理解などにも非常に役
立ちました。

個別指導では一人一人のテーマに合わせた現地スポットをウズベキスタンに詳しい名古屋大
学ウズベキスタン事務所の方々に提示していただきました。事務所の方や現地学生の方々は
もし自分一人だったら言語や、土地柄などの面で不可能だった多くのことを可能にしてくだ
さいました。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

自分は今まで、先進国と呼ばれるような国ばかりに行っていたのでウズベキスタンの街中は目に映るもの全てが新鮮でした。ウズベキスタンの衣食住の文化や発展レベルについての理解、イスラム教圏の国の文化を学べたことはもちろんのこと現地学生など人々と関わることでウズベク人の精神性（例えば、親日国であることやロシアとの関係性、宗教観など）も詳しく知ることができたのも大きな収穫かなと思います。自分と同じ年代の学生の姿を間近で見られるというのも自分にとっては非常に刺激的でした。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

現地通貨であるスムは大量の紙幣という形で配られるので金銭の管理には気をつけました。日本人にとっては非常に暑い地域の（時期であった）ため、なるべく休むように、水分補給を多くするように心がけました。ウズベキスタンはかなり治安の良い国であるという印象を受けました。街中を歩くときは現地学生か先生方が必ず同行してくださったので大きな危険には巻き込まれませんでした。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	110000 円		振込
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	100000 円	900 ドル	ウズベキスタン事務所へ支払
計	約 23 万円		

* 各自の食費，交通費，小遣いは全て合わせて 2 万円分くらいでした，内訳はあまり覚えていません。

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属 & 学年 | 法学部 1年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

元々、海外の文化や情勢に興味があり、大学のプログラムで海外に研修・留学をしたいと考えていた。また、個人的には行くことが難しそうな国に行きたいと考えており、それらに最も合っていたのがウズベキスタンだった。研究課題の調査や、様々な場所を訪れ、色々な人と会う中で、ウズベキスタンの文化や日本との関わりを見たいと思い履修することにした。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

全体をとして、課題を研究することがとても面白いと感じた。自分で設定した研究テーマを調査する上で、事前に何を準備し、現地でどのような調査を行えば良いかを、考え、実行していく過程は、今後何かを研究する機会があった時に、必ず役に立つ経験だと思う。

私の研究テーマは、家族の価値観についてであったが、ウズベキスタンの人々の家族関係や人の繋がりを見ていると、生活の中にイスラム教が深く入り込んでいることがよく分かった。また同時に、私自身がイスラム教についての教養が少ないことも痛感した。

日本では、あまり日常的に宗教を意識する機会が少ないが、宗教を知ることは、地域の繋がりから国家間の関係まで、社会全般の多様なことを理解することに繋がると考えられ、これから学んで行きたい分野の一つになった。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個指導等）で学んだこと

現地では、様々な遺跡を訪問し、歴史を学び、現代のウズベキスタンと過去の出来事の関係性を知ることができた。生活の中では、ウズベキスタンの伝統的な料理や服が今でも色濃く残っていることが、興味深く思えた。ウズベキスタン日本センターで、政府間ではインフラ整備支援プロジェクトが、民間では日本語や日本式ビジネスの教育が行われていることを知った。これからもお互いのことを知り、交流を深めていければ良いと思うし、その過程に私自身も関わりが持てたら良いなと思った。

本講義の初回授業でグローバル人材について考える授業があり、世界各国が多数の留学生を海外に送り出し、グローバル社会に適応できる人材を育成している中、日本人学生の海外派遣状況が厳しい局面にあることを知った。本講義のような短期留学を通して学んだことをきっかけに、私を含め、多くの学生が自分の興味がある分野や専門分野について長期間海外

の大学で学習することが、私たち自身と日本が今後も成長していく上で必要なことではないかと思った。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

東アジアの観光客があまりいなかったり、英語が全く通じない時があったり、今までに訪れた国々とは少し違った環境がウズベキスタンにはあった。サマルカンドの家庭訪問先では、家の中庭で、半野外の状況で寝るという、日本ではあまりできない経験をした。日本にはない新鮮な生活感を味わうことができるのも、この海外研修ならではの強かった。

異なる生活の雰囲気を感じると同時に、ウズベキスタンの人々の真面目なところやフレンドリーなところに、シンパシーを感じたのも事実である。フィールドワーク等を通じて仲良くなった学生と、今後も連絡を取り合い、ウズベキスタンとその人々の良さをもっと見つけていきたいと思う。

5. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

航空機で移動するので、預入荷物、機内持ち込み荷物に持ち込み不可のものを入れていないように注意した。滞在中、体調を崩すことを想定し、必要だと考える常備薬を持参したが、現地でお腹を壊し、手持ちの薬が足りなくなりそうだったので、現地の薬を調達することになったのは反省点である。ウズベキスタンは、比較的治安の良い国ではあるが、スリや置き引きされないように、自分の荷物の管理には気をつけた。

6. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	141500 円		振込
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	102500 円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	1700 円	=94500 スム	現金 1700 円、カード 0 万円
各自での交通費	700 円	=41500 スム	
その他（小遣い）	9500 円	=541200 スム	現金 9500 円、カード 0 万円
計		約 25.5 万円	

※ドルはいくら持参しましたか？ 148000 円=1300 ドル

自由記述欄

研究することの難しさと楽しさを知るフィールドワーク、伝統と歴史を感じる街並み、味わい深い料理、暖かい人々、どれをとっても満点の本講義に参加してみたいかがでしょうか。

全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 法 学部 1 年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

世界遺産を見てみたかったから。海外研修というものを経験してみたかったから。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

自分がやりたい、調査したいと思ったことを現地で達成することが自分の想定以上に難しかったことです。自身の事前調査力不足、言語力不足を痛感しました。しかし悪いことばかりではなく、拙い英語でも必死に相手に伝えれば、意外とすんなりと自分の思っていることを伝えることができるということを知りました。臆せずに勇気を出して一歩踏み出すことの重要性を学びました。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

自分が調べたこと、まとめたことを整理して相手に伝えることの難しさを学びました。自分で自身のテーマに必要な論文、文献を調べ必要な情報を抽出していくということ、またそれを用いる際の注意点について学びました。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

現地の文化、食事にうまく適応していくことが重要だと感じました。自分の体調をしっかり管理して生活することが大事だと学びました。予期しないことが起こったときに臨機応変に対応できるような心構えを常にしていなければならないと感じました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

海外は日本よりも比較的盗難が多いと感じたので貴重品の管理は徹底しました。また、危機管理とともに体調管理もとても重要だと気づきました。海外では水道水は飲めないことが多いので水を買うことは常に意識しておいたほうが良いと感じました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	1 55,000 円		振込
授業料	0 円		
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	90,000 円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	2,000 円	= 6,000 スム	
各自での交通費	2,000 円	= 70,000 スム	
その他（小遣い）	16,000 円	= 600,000 スム	
計		約 26 万円	

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

ウズベキスタンはとてもいい国です。ただし蜂には気を付けてください。刺されます。また、ウズベキスタンには聖水というものがありますが飲みすぎではいけません。お腹が壊れます。ですがご飯はとても美味しいです。いっぱい食べましょう。私のお勧めはシャクリク、マントウーという料理です。最後に私のお気に入りの写真を添付します。



全学教養科目・特別講義（シルクロードの文化・海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 9月

所属&学年 | 経済学部 1年生

科目名	シルクロードの文化
渡航先など	ウズベキスタン共和国：フィールド調査、名大ウズベキスタン事務所 訪問先（世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学、日本ウズベキスタンセンター、日本国大使館など）
海外での学習期間	2017年8月25日～9月6日

1. 履修のきっかけや動機

大学に入学する前からどこかに留学に行きたいと思っていました。入学後の説明会でこの留学プログラムを知り、初めての留学としておすすめだと聞いたので履修を決めました。ウズベキスタンを選んだ理由はシルクロードの文化を見たいというのもありましたが、やはりなじみの薄い国に行ってみたいと思ったからです。

2. フィールド調査（授業内・外、個別指導等）を通して学んだこと

事前調査のうちから様々なことを学びました。参考文献の使い方やウェブページの引用の仕方などの技術的な面や、物事を考える上での様々な観点といった思考方法を学びました。また、私は現地でアンケート調査を行いました。アンケートを作るうえでの質問の書き方には特に勉強になりました。誘導的な質問を作らないことや、質問の意味が正しく伝わるのかなど実際にやってみなければわからないことを考えました。

3. その他、名古屋と海外での学習（授業内・外、個別指導等）で学んだこと

マナーなどの基本的なことをとても丁寧に教えていただきました。教授あてのメールの書き方や接し方、言葉遣いなどを学びました。1年生のうちからこのようなことを学んでおくのはとても為になると思いました。また、私は、海外は初めてだったので文化の違いや外国に行くことがどういうことなのかということも学びました。安全講習などもとても参考になりました。

4. 海外研修中での生活で学んだこと

ほかの国の人とは価値観が違うというのは一般的なことではあります。実際に現地でそのように感じた場面もたくさんありました。しかし、それ以上に多くのことを現地の方々と共有できたと感じています。食べ物や服は確かに違いますが、礼儀や人との接し方などの点では共通する部分がたくさんありました。他国での紛争などがニュースでよく取り上げられます。私はそのようなことを聞くと、日本人以外はどうな風に生きて、考えているかわからないと感じてしまうこともありました。ですが、世界にもいわゆる「いい人」がたくさんいることを感じるようになりました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

ウズベキスタンでは横断歩道があまりないため、車道を横断することが日常的に行われています。日本人はそのような生活に慣れていないため、渡るときはかなり気を付けました。またパスポートを見せる場面が頻繁にあるのでチャックのついたポケットのあるズボンなども便利でした。留学中に私は、おなかを壊し現地のお医者さんに診てもらったので海外旅行保険には必ず入ったほうがいいと思います

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	18000 円		振込
授業料	99000 円		
滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費）	円		ウズベキスタン事務所へ支払
各自での食費	1000 円	= 20000 スム	
各自での交通費	1000 円	= 20000 スム	
その他（小遣い）	5000 円	= 100000 スム	
計		124000	